

法人名	独立行政法人国立印刷局（平成 15 年 4 月 1 日設立）＜特定＞ （理事長：富沢 宏）
目 的	銀行券の製造を行うとともに、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報の提供を行うこと等により、通貨制度の安定に寄与することを目的とする。またこのほか、官報の編集、印刷及び普及を行い、並びに法令全書、白書、調査統計資料その他の刊行物の編集、印刷、刊行及び普及を行うこと等により公共上の見地から行われることが適当な情報の提供を図るとともに、国債証券、印紙、郵便切手その他の公共上の見地から必要な証券及び印刷物の製造を行うこと等によりその確実な提供を図ることを目的とする。
主要業務	1 銀行券の製造を行うこと。2 銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報の提供を行うこと。3 官報の編集、印刷及び普及を行うこと。4 法令全書、白書、調査統計資料その他の刊行物の編集、印刷若しくは作成、刊行又は普及を行うこと。5 国債証券、印紙、郵便切手、旅券その他の公共上の見地から必要な印刷物の製造又は印刷を行うこと。6 1 から 5 の業務に関し、調査、試験、研究又は開発を行うこと。7 1 から 6 に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。
中期目標期間	5 年間
委員会名	財務省独立行政法人評価委員会（委員長：奥村 洋彦）
分科会名	国立印刷局分科会（分科会長：奥村 洋彦）
財務省独立行政法人評価委員会の評価基準（手法）の概要	項 目 別 評 価 「独立行政法人国立印刷局の事業年度評価（項目別）の評価項目及び指標」に定めた評価項目ごとに評価の指標に基づいて A⁺ から D の 5 段階評価を行う。また、実施の有無、計画の遵守・違反など 2 段階評価が適当な項目については「○×」により評価を行う。 A⁺: 当該事業年度の実績を踏まえると中期目標を大幅に上回ることが見込める状況である。 A: 当該事業年度の実績を踏まえると中期目標を十分に達成することが見込める状況である。 B: 当該事業年度の実績を踏まえると中期目標をおおむね達成することが見込める状況である。 C: 当該事業年度の実績を踏まえると中期目標の達成は難しいが相当程度の進展は見込める状況である。 D: 当該年度の実績を踏まえると中期目標の達成は困難と見込まれ業務運営の改善等が必要である。

財務省独立行政法人評価委員会の評価基準(手法)の概要	総合評価 項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務全体について、総合的な観点から、その実績を記述式により評価する。																		
財務省独立行政法人評価委員会の評価結果の概要	項目別評価 ○ 評価結果 1 業務運営の効率化<平成 15 年度：B、16 年度：A> 「効率的かつ効果的な業務運営の確立」、「内部管理体制の強化」及び「業務運営の効率化に関する指標」の 3 つの中項目で評価を実施 <table><tr><td>年 度</td><td>平成 15</td><td>16</td></tr><tr><td>評価結果（項目数）</td><td>A：2、B：1</td><td>A：2、C：1</td></tr></table> 2 業務の質の向上<平成 15 年度：A、16 年度：A> 「銀行券の製造等」及び「官報、法令全書等の提供」の 2 つの中項目について、4 つの評価項目を設定して評価を実施 <table><tr><td>年 度</td><td>平成 15</td><td>16</td></tr><tr><td>評価結果（項目数）</td><td>A：4</td><td>A：3、B：1</td></tr></table> 3 予算、収支計画及び資金計画<平成 15 年度：A、16 年度：A> 4 短期借入金の限度額<平成 15 年度：該当なし、16 年度：該当なし> 5 重要な財産の譲渡等<平成 15 年度：該当なし、16 年度：○> 6 剰余金の使途<平成 15 年度：該当なし、16 年度：該当なし> 7 その他業務運営に関する事項 「人事に関する計画」、「施設、設備に関する計画」、「職場環境の整備に関する計画」、「環境保全に関する計画」及び「印刷局病院」の 5 つの中項目について、それぞれ評価を実施 <table><tr><td>年 度</td><td>平成 15</td><td>16</td></tr><tr><td>評価結果（項目数）</td><td>A：4 B：1</td><td>A：3、B：2</td></tr></table>	年 度	平成 15	16	評価結果（項目数）	A：2、B：1	A：2、C：1	年 度	平成 15	16	評価結果（項目数）	A：4	A：3、B：1	年 度	平成 15	16	評価結果（項目数）	A：4 B：1	A：3、B：2
年 度	平成 15	16																	
評価結果（項目数）	A：2、B：1	A：2、C：1																	
年 度	平成 15	16																	
評価結果（項目数）	A：4	A：3、B：1																	
年 度	平成 15	16																	
評価結果（項目数）	A：4 B：1	A：3、B：2																	

財務省独立行政法人評価委員会の評価結果の概要	《参考》定量的指標の実績（平成 16 年度）（例）			
	指 標	中期計画	年度計画	実 績
	特許等の出願件数	平均年 60 件以上	60 件以上	62 件
	総 合 評 価			
	○ 評価結果、評価の理由、特記事項等			

年 度	平成 15	16
評価結果	中期目標に照らし成果をあげた	順調

独立行政法人として民間企業的な経営手法を導入し効率的かつ効果的な業務運営の確立に努めている。平成 16 事業年度においては、改刷期にあったにも関わらず、経営改革、組織効率化などの合理化に引き続き取り組んだことは評価される。なかでも、弾力的な人事配置等により、質・量の両面において確実に新銀行券の製造という重要な任務を遂行したことは、高く評価できる。

組織運営においては、理事長をはじめとする幹部職員のリーダーシップのもと、各レベルで独立行政法人としての柔軟性を発揮しつつ、自立的かつ自律的な経営手法を採り入れるなど、より改善されつつあると受け止められる。特に経営層と執行層の権限と責任をより明確にするとともに、本局組織のみならず工場組織についても、本局に合わせた見直しを行い執行体制が双方で強化された。また、人員を減少させる中で、撤退した郵便葉書製造部門の人員などの効果的な活用が図られた。

基幹業務である銀行券製造についてみると、テスト券とはいえ、流出事故が発生したことに対しては、厳しい対応が求められる。しかしながら、新銀行券の短期大量生産という 20 年振りの困難な局面にあって、昨年度に引き続き、必要な要員を他の職場からの配置転換等により確保するとともに、職員の理解と協力のもと、二交替制勤務及び夜間、休日出勤による機械の長期連続稼働を通じて、大量の新銀行券を高品質かつ均質の状態で納期どおり製造・納入したことは高く評価できる。

銀行券製造以外の分野については、官報や法令等の印刷を電子入稿方式にすることで発行までの期間の短縮化や、ホームページからの官報のダウンロードを行えるなどの国民への情報提供も拡充された。

財務省独立行政法人評価委員会の評価結果の概要	国立印刷局の目指す効率的な業務運営の基盤となる統合業務システム（ERP）に関しては、運用を開始した前年度において、会計系システムのデータ処理に大幅な遅れが生じるなど迅速性に課題が残っていたが、平成 16 年度においては、会計系システムについては順調に作動するように改善された。一方、生産系システムについては、平成 18 年度に導入が延期されたことから、今後の努力を注視する必要がある。 財務面においては、各部門において収支改善に向けた経費の節減等が着実に行われた結果、経常収支比率は平成 15 年度に引続き、100%以上と中期計画に掲げる目標を超えた。 病院事業については、小田原病院を平成 16 年度より診療所化し、「小田原健康管理センター」として組織替えを行うなどした結果、平成 15 年度と比べて、収支改善が図られた。 テスト券の外部漏洩や労働面の事故発生等、一部で問題が起きていることにも鑑み、長年にわたる銀行券の製造や官報等の編集・印刷等を通じて維持し培ってきた国民の信頼並びに国立印刷局の存在価値を高めるため、国民への情報公開をはじめとして、機密保持や安全性の確保に向け経営努力を強めると共に、職員・労働組合等を含め業務にかかわる全ての人々との意見交換が一層活発化されることを期待したい。
政策評価・独立行政法人評価委員会の意見	以下の点を踏まえつつ、財務省独立行政法人評価委員会の評価結果が活用され、中期計画等に基づく業務の質の向上及び効率化が、引き続き効果的に推進されるよう図っていく必要がある。 印刷局病院（東京病院、小田原健康管理センター）については、中期目標において病院の在り方等について抜本的な改革の検討を速やかに行うとされていることから、本法人の具体的な検討の進捗状況に着目した評価の内容について評価書上に具体的に記述すべきである。
ホームページ	法人： http://www.npb.go.jp/ 評価結果： http://www.mof.go.jp/singikai/dokuritsu/top.htm